

中学校教育 70 年記念第 68 回全日本中学校長会東京大会研究大会あいさつ
日時 平成 29 年 10 月 20 日(金) 午前 11 時 55 分
閉会式 場所 東京国際フォーラム

中学校教育 70 年記念第 68 回全日本中学校長会東京大会が、全国から多くの会員の皆様をお迎えして、「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」の大会主題の下、2 日間にわたる日程が間もなく幕を閉じようとしております。

昨日の午前中に挙行了しました中学校教育 70 年記念式典は、厳粛な雰囲気の中で、全日本中学校長会にとって大変意義深い式となったと思います。皇太子同妃両殿下のご台臨を仰ぎ、皇太子殿下からお言葉を賜るという栄誉を授かるとともに、参議院議長の伊達忠一(だて ちゅういち)様、文部科学大臣 林 芳正(はやし よしまさ)様からも、大変暖かいお言葉をいただき、私どもの背中を力強く押しいただきました。私たちは、このことをしっかりと心に刻み、期待に応えていかなければなりません。

そして、昨日と今日の 2 日間にわたる熱心な全体協議会、伝統芸能、大村智(おおむら さとし)先生の講演などを通して、本大会の開催趣旨であります「新たな展望に立った中学校教育の在り方を求めて研究大会を開催し、主題に迫る具体的な方策を究明し、我が国の中学校教育の一層の充実・発展を期する」ということが実現できたのではないのでしょうか。

社会の大きな変化の中にあって、学校教育に求められるものは年々多岐にわたっています。そして、それらに応えるために、私たち校長に課せられた使命は大変大きいものがあります。全国の校長は、その使命を全うしていくことを喜びとし、生きがいとしている人たちの集団であると私は信じております。

この 2 日間、ここ東京国際フォーラムでの式典や研究協議などを通して得た様々な情報を糧として、明日からの学校経営に当たってはいかがでしょうか。

結びになりますが、本大会の企画・準備・運営に関わっていただいた東京都中学校長会の皆様をはじめ、ご支援賜りましたすべての関係の皆様に、改めまして深く感謝申し上げます。来年度は、鳥取県におきまして「第 69 回全日本中学校長会研究協議会鳥取(米子)大会」が開催されます。来年度の大会もすばらしい大会となりますことを祈念いたしまして、閉会式のあいさつといたします。

2 日間、誠にありがとうございました。